

第5回おおたユニバーサルデザインのまちづくり区民推進会議
議事録要旨

平成25年7月17日(水)

10時00分～12時00分

会場：大田区立消費者生活センター 2階 大集会室

[配布資料]

- 資料1 おおたユニバーサルデザインのまちづくり区民推進会議委員名簿
(裏面)ユニバーサルデザインのまちづくり区内推進委員名簿
- 資料2 おおたユニバーサルデザインのまちづくり事業報告
- 資料3 (仮称)心のバリアフリーハンドブック

エスカレーター新聞記事

エスカレーターは歩くと危険キャンペーンチラシ

ユニバーサル駅伝チラシ

参考資料 大田区ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針

参考資料 まちに出よう おでかけアシストブック

[出席者]

(区民推進会議委員) 16名

産業能率大学教授 齊藤委員/お茶の水女子大学大学院准教授 松田委員/公募 大内委員/公募 李委員/NPO 法人大身連 宮澤委員/大田区知的障害者育成会 佐々木委員/蒲田東口地区まちづくり協議会 飯尾委員/大森駅東地区近代化協議会 堀委員/大田区自治会連合会 小山委員/特定非営利活動法人 男女共同参画おおた 古澤委員/大田観光協会 鳴島委員/東日本旅客鉄道株式会社 町野委員/京浜急行電鉄株式会社 島村委員代理/東京急行電鉄株式会社 織茂委員

(区内推進委員) 15名

福祉部長/まちづくり管理課長/広報課長/計画調整担当課長/施設管理課長/
国際都市担当課長(代理)/観光課長/高齢計画課長/障害者施設計画担当課長/
子育て支援課長(代理)/住宅課長/都市基盤管理課長/連続立体事業再開発担当課長/
教育委員会副参事

(事務局)

福祉管理課長/福祉管理課担当係長/福祉管理課担当/まちづくり管理課担当係長/
まちづくり管理課担当

(傍聴者) 4名

[次第]

- 1 開会
開会のあいさつ 福祉部福祉管理課長
- 2 福祉部長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 新規委員・区職員新規出席者紹介
- 5 【議 題】

会長

次第のとおり進めていきたいと思えます。それでは、(1)UD事業実施状況(前回会議以降)について、事務局の方から説明をいただきたいと思えます。

(1)UD事業実施状況(前回会議以降)について

- ・総合学習支援事業
事務局より資料2(2ページ)に基づき説明
- ・UDパートナー事業
事務局より資料2(3ページから44ページ)に基づき説明
- ・大田区ホームページ(ことナビ)
事務局より資料2(45ページから48ページ)に基づき説明
- ・デジタルサイネージ
事務局より資料2(49ページから50ページ)に基づき説明
- ・首都圏ニュース(NHK)
DVDにて紹介

会長

ただいま報告をいただきましたが、内容については多岐にわたっていますがお気づきの点、あるいはご意見等ございましたらお願いしたと思えます。

A委員

デジタルサイネージにつきましてお聞きしたいのですが、災害時に防災課と連携して表示されるとのことですが、これは停電しても大丈夫なようになっているのでしょうか。

事務局

本庁舎、地域庁舎等につきましては、発電機の準備ができています。特別出張所につきましては、本年度、準備するというお話をお伺いしています。

B委員

UDパートナー事業について、何人くらいの方が参加されているのかということと、新しく参加されるかたはどのくらいなのかの二点をお伺いしたい。

事務局

UDパートナーの参加者数ですが、p3をご覧ください。昨年度、16箇所を点検しまして、それぞれの点検箇所UDパートナーが何名参加したのかということに記載させていただいています。小さな施設につきましては、その地区のUDパートナーに点検をしていただいています。大田区総合体育館、(仮称)障がい者総合サ

ポートセンターのような全区的な施設につきましては、UD パートナー全員にお声をかけさせていただいています。また、UD パートナーの入れ替わりになりますと、昨年度、42 名の方が登録していきまして、今年度 44 名の方が登録していきまして、2 名の方が新規の登録者になります。

C 委員

今、NHK の放送を紹介されましたが、本庁舎の点字誘導ブロックですが、大田区ではどのくらい普及しているのでしょうか。

施設管理課長

本庁舎については対応が終了しています。（仮称）障がい者総合サポートセンター、あるいは新井宿特別出張所のような新築あるいは建替えのものにつきましては、導入が可能ですが、効果等を検証したうえで進めていきたいと考えています。

会長

今の新しい点字誘導ブロックですが、大田区の独自規格という考え方でよろしいのでしょうか。

施設管理課

大田区が設置した段階では、市販されていませんでしたが、現在は市販されていますので、その他でも利用できるかと聞いています。

B 委員

（株）ウチダシステムズというメーカーと（株）クワハタデザインオフィスが協働で開発したもので、現在、その効果について実証、検討中で、千代田区本庁舎に敷設されていると聞いています。

会長

他にございませんか、関連する事業がございましたら委員の皆様方も積極的に参加していただいてご支援をいただければと思います。

それでは、議題の（２）で UD 推進部会、UD 普及部会から報告をお願いしたいと思います。

（２）UD 推進部会、UD 普及部会

・ UD 推進部会報告

B 委員（UD 推進部会部会長）より資料 2（51 ページから）について説明

・ UD 普及部会報告

A 委員（UD 普及部会部会長）より資料 2（62 ページ）について説明。

資料 3（5 ページから）を読み上げ、意見交換。

会長

ありがとうございます。UD 普及部会の報告ですが、（仮称）心のバリアフリーハンドブックについての報告がありました。（仮称）心のバリアフリーハンドブックの素案について、是非、この時点でお気づきの点がありましたらよろしく願います。

D 委員

肢体障がい、視力障がい、聴覚障がいの3障害の方が会員である大身連の中ではあたりまえなのですが、エレベーターについている鏡の役割についてわかっていない方が多い。意外とそういうところがわからない。こういうことも、入れていっていただければと思います。

E 委員

こういった内容を多くの人に届けられるよう、配布する場所や用途について考えていただければと思います。ユニバーサル駅伝に協力していただく中学生、高校生、大学生には、事前の研修でこの内容に即したことを学んでいただいています。この中でないのが、高齢者に対する心のバリアフリー、高齢者の方と自転車との接触事故なども多く起きています。是非、この中に付け加えていただきたいと思っています。

B 委員

その他の障がいで挙げられている障がいの項目が多いので、絞ったほうがよいと思います。2ページでは収まらないのではないのでしょうか。例えば、発達障がいの一部分は知的障がいと合わせたり、高次機能障がいについては、専門家も少ない部分でもありまとめるのが難しいと思います。そうすると、これに高齢者を新たに盛り込むのはどうでしょうか。

会長

p 16 - p 17は事務局とありますが。

事務局

高齢者について盛り込む課題、その他の障がいを絞り込むかどうかについては、持ち帰りまして、部会で検討したいと思っています。

F 委員

例えば、子育て中の人ですと、大阪モデルでは、電車に乗るときとかすぐにバギーを載せる手伝いをします。習慣、慣習があり難しいとは思いますが、関東ではあまりそれがありません。

あたりまえのことですが、なかなか気づかないような事を、支援してほしいことをわかりやすく入れてくれるとうれしいです。

G 委員

障がいは？で書き出しています。これは概念、定義かなと思いました。そうすると、子育て中を規定すると、どこまでが子育て中と幅がある。また、外国人ですと人によって感じ方が違う。ある程度、一定の書き方の方が分かりやすいのではないかと思います。見やすく、内容が具体的なものがわかりやすい様に思います。

会長

ありがとうございます。全体の統一感、読みやすさ、見やすさ、使いやすさ等、難しいですが、そここのところが使ってもらえることにつながりますので、是非、更に検討していただければと思います。

H 委員

全体を見て感想を言わせていただきます。まず、だれに読んでもらうのかがは

っきりしていないこと。障がいの文字ですが、“障”が漢字で、“がい”がひらがなになっている。わたしの認識不足かも知れませんが、“がい”がひらがなであれば、“障”もひらがなではないかと思います。p 3以降にあります、マークと説明文ですが、マークが大きいわりには説明文が小さくて、説明文が読みにくいと感じました。もう少し、省略してわかりやすく説明していただければと思います。

それからp 5の真ん中へんに“歩道と車道の区別がない道は怖いです”とありますが、新しく街を作っていくとこういう問題が必ずでてきて、段差がない方がよいという風潮が今ありますが、そうするとどちらを選んだらよいのかということで迷う問題かなと思います。p 6の真ん中から下が少しぐちっぽく聞こえてしまいましたので、表現を工夫したらと思いました。高齢者の方とか、p 16以降の障がいなど、いろいろ付け加えると病氣の本に近くなっていく感じがしますので、バリアフリーに関連するものなどに絞ってまとめていけばよいのではないかと思います。

会長

さきほど誰に読んでもらうのかという意見がありました。どういう内容までまとめるのか、全部入れていくとハンドブックでなくなる。ハンドブックにしていくときは、今の意見も参考になりますが、対象はどうするのか。

A委員

基本的には、小学校で総合学習支援に行っている学校の児童・生徒に配布したいと考えています。ことばの説明をつけたりして、小学校の4年生くらいにもわかる内容にしたいと考えています。

I委員

まず、よくまとめられていると思いました。学校用としては、視覚障がい者、聴覚障がい者、肢体不自由、知的障がい者、このくらいに絞ったほうが良いと思いました。3. 11以降、町会でも障がい者の方や高齢者のお宅を訪問して、どのようなことに困っているのか教えて欲しいと、役員が全員回りました。冊子ができたら、活用できるよう発信していただきたいと思います。

B委員

ボリュームの件で、今、ご意見がありました。いわゆる今までの障がいという対象の人達だけでなく、広くいろいろな人がいるということをつえようと広がりを持たせたこと、小学校から中学校までの総合学習支援をした児童・生徒を配布対象としていることを考慮すると、私も、これくらいが適切かと思います。また、例えば、発達障がいなどを入れておくと親が発見する場合がありますので、そこは簡単な記述であっても入れておいていただければと思います。

E委員

p 5の“歩道と車道の区別がない道は怖いです”についてですが、他の街にもみられますが、歩道を示すために道の端をグリーンに色塗りをする街もありますので参考にしていただければと思います。

会長

たくさん意見が出ましたので参考にしていただければと思います。先ほど出ま

した“障がい”の“障”の字、“がい”がひらがなですが“障”も同じようなイメージがあるということだと思いますが、“障がい”とした理由はどのようなことでしょうか。

A 委員

これは、最終的には大田区の判断になると思います。平成21年度くらいに、“害”の字をひらがなにしたらどうかという論議がされまして、大田区では、この年に“障害者の日の集い”も全部ひらがなにしました。大田区では、法律や固有名詞等を除いて“障害”の“害”の字はひらがなを使っています。

障がい当事者の方の、私達は“害”を与えているものではないというご意見があつて“害”の字がひらがなになったと聞いています。

内閣府の会議では、“害”の字についてかなり検討された結果、当面は漢字を使うということになっています。私達としては、区の判断に委ねたいと思います。

会長

ありがとうございます。皆さんの意見を聞きながら、これはハンドブックで子供向けだとすると、少し字数が多いかなという気がします。子供向けに書いていくときには、完成した時点で小学校の先生に読んでいただいた方が良いと思います。大人はわかっても、小学生はまったく違う観点で理解しますから是非、小学校の先生に確かめたほうが良いと思います。

また、全体を読んでいて思うのは、最初に障がい特性、概念、定義があり、あるいはそうした方たちを取り巻いている状況、その次に、問題点、困っていること、まちや施設や人の気持ちで、最後に共に生きるということですから、何を注意してほしいのか、どうしてほしいのか。声掛けとか、手助けとかありましたが、やはり心のバリアフリー、共に生きるということに向けてどうしてほしいのか、といった3つの構成でできていればと思います。もちろん、全部がそれに対応できるとは思いませんが、全体の統一が出来ればと思います。基本的には、読みやすく、見やすく、理解しやすくまとめていただき、子供向けであれば、イラストをもっと多用していけばよろしいのかなと思います。これをたたき台に皆さんの意見を参考にして内容を深めていただければと思います。ありがとうございました。

(3) 平成25年度UD事業について

事務局より資料2(63ページから67ページ)に基づき説明

会長

平成25年度のUD事業について、ご説明をいただきました。内容等につきまして、ご確認、あるいはご質問等ありましたらよろしく願います。よろしいですか。それでは、(4)の意見交換ということですが、D委員とE委員のほうから資料の提供がされていますので、こちらの方の説明を順に願います。

(4) 意見交換

・エスカレーターを歩かない取組みについて紹介

D委員より説明

・ユニバーサル駅伝大会

E委員より説明、参加のお願い

会長

ありがとうございました。9月29日、日曜日ですので、障がいのあるなしに関わらず交流しながら、心のバリアフリー、あるいは相互理解を深めていくという活動ですので、是非、ご協力、ご参加していただければと思います。全体を通してなにか、ございますでしょうか。よろしいですか。（仮称）心のバリアフリーガイドですが、次回の普及部会が7月30日だそうなので、何かお気づきの点がありましたら一週間くらいを目途にお気づきの点について事務局までご連絡をお願いできればと思います。よろしくお願ひします。なにか、ございますか。

それでは、次第の方は終了しまして、事務局のほうから、連絡事項ありましたらよろしくお願ひします。

事務局

会長ありがとうございました。ただいまのハンドブックの件ですが、是非、ご意見をいただきたいと思ひますので福祉管理課までお願ひします。

もう一件、ご連絡いたします。冒頭で、蒲田女子高の委員の辞職の報告をいたしました。UD普及部会の委員もなされておりました。UD普及部会の後任につきましても、G委員にお願ひしたいと思ひます、ご了承をよろしくお願ひします。

また、次回の推進会議は、平成26年2月中旬頃に開催したいと考えておひます。改めて、ご通知等差し上げますのでよろしくお願ひします。本日の会議は、これにて終了します。ありがとうございました。